
銀河英雄年代史外伝 ケリム星域遭遇戦 予告

雨霧颯太

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

銀河英雄年代史外伝 ケリム星域遭遇戦 予告

【Nコード】

N0583J

【作者名】

雨霧颯太

【あらすじ】

新帝国暦二一年、商船隊からの救難信号をキャッチしたヴェルナー艦隊は、海賊騎士サー・ドレイクの襲撃を受けた商船隊に遭遇する。ドレイクの申し出に、ヴェルナーは……。

銀河英雄年代史外伝シリーズ 第三作目。その冒頭部分をお楽しみください。

(前書き)

銀河英雄伝説の二次創作小説です。舞台はヤンやラインハルトらの時代よりも二十年先の未来。ローエングラム王朝で平和を守るために戦う若き提督たちの物語です。

新帝国暦二一年一月二〇日午後二時三〇分 ヴェルナー・テンシユテット大佐率いるバーラト星系警備艦隊第六戦隊五〇〇隻はケリム星域からバーラト星系へ向かう商船隊からの救難信号をキャッチした。

先のケルン占領以後、大規模だった反乱はなかったものの、通商路を狙った海賊行為はあとをたたなかつた。

「まったく、毎度毎度嫌になるわ。何度痛めつければ懲りるのかしら」

艦隊参謀長のナオ・リヒテンシュタイン中佐が腕組みをして言った。

「確かに同感だが、彼らにしてみれば生きるために必要な行為だ。頭から否定することは出来ないさ」

艦隊司令官のヴェルナー・テンシユテットは言った。

「あら？やけに連中の肩を持つのね。ヴェルナー」

ナオは意外という顔をして、指揮シートに座った一歳年少の黒髪の司令官に言った。

「まあね。海賊に片足を突っ込みかけてる相棒がそばにいるからね」
おどけて言ったヴェルナーであったが、その代償は計り知れないものだった。彼の頭上からナオのげんこつが降り注いだのである。並

の男五、六人を相手にしておつりが来るほどの腕っ節を誇る鉄腕リヒテンシュタインの鉄拳である。ヴェルナーは想像を絶する痛みへのたうち回りながら、ナオに抗議した。

「痛いな！ 参謀長！！ こぶが出来るだろうが！！」

ナオは手に腰をあててふんぞり返った。

「あら、乙女の純情を傷つけた罰よ」

「まったく……三十路過ぎて何が乙女だよ……」

艦橋にいたものは例え遮音防壁越しでもナオの堪忍袋の緒がキレた音が聞こえたであろう。オペレーターたちは艦橋内の空気が絶対零度に近い温度に下がるのを感じた。その次の瞬間にはヴェルナーの悲鳴が聞こえて来た。

「ふふふ。これが楽しみだから、この艦隊は辞められないわ」

オペレーターの一人が言った。

「艦橋名物、司令官と参謀長の夫婦漫才ってね。艦長をしてみるよ。また胃薬飲んでるよ」

もう一人のオペレーターが言った。緊張が少しだけ和らいだが、コンソールに映し出された反応を見て再び顔色が変わった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0583j/>

銀河英雄年代史外伝 ケリム星域遭遇戦 予告

2010年10月11日04時18分発行